



田子浦港、森富工場の煙。

東海道五十三次 吉原

東海道第十四宿

吉原は左富士にて有名だが、左側でなくとも、こゝから見る富士山はびくりするほど大きい。川の氾濫に悩まされ続けたこの土地も、いまでは立派な製紙の街である。



吉原
東海道五十三次之内
松重貞
権家印

見どころ

鶴生の碑、かつてのあたりは白酒が名物の本市場といふ立場だった。こゝから見ると富士の中腹に曾と芝草がたなごころに舞うように見えたとに由来する碑！



現在のJR吉原駅付近は初期の吉原宿(吉原)である。

日本松原の富士、浮島を原の富士と総じてきた道中は吉原では富士山が街道の左側に見える「左富士」となる。静岡県東の駿道はまことに「富士」だが昔の旅人はその位置や大きさから方向・距離感覚を得ていたのではなかつたか。左富士もいまでは工場にはさまれてしまて名所気分は出ないがやはり記念撮影としては珍らしい場所である。